

第7回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

委員長 固武健二郎
場所 都市センターホテル 604号室
日時 2014年1月23日 13時～14時
配付資料 大腸癌研究会プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」第7回資料
参加者 古畑（札幌医），衣笠（久留米），前田，佐藤（藤田），亀岡，廣澤（女子医），
八岡（埼玉がん），大植，能浦，（大阪成人病），矢野，合田，（国際医療），
野上，島田（新潟），長谷，末山（防衛），小森（愛知がん），
金光（国がん中央），端山（帝京），渡邊，須並，石原，風間（東大），
小山（弘前），船橋，鏡（東邦大森），川崎（ベルランド），須藤（山形県中），
固武，小澤（栃がん），小林（医科歯科）

順不同敬称略

議題1 第6回会議議事録案が承認された。

議題2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

- ・現在の登録症例数：31例。予定の半数以下の登録状況であり，集積期間の延長，施設数を増やす可能性について言及があった。

議題3 腹腔洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

- ・各施設の状況を確認。
- ・ほとんど施設は IRB を通過しており，症例の集積を開始していることが確認された。
- ・現時点では全施設合計でおよそ200例程度に腹腔洗浄細胞診が施行されていた。

議題4 腹膜播種の retrospective study（症例集積研究）の集計解析結果について

- ・事務局の論文が Journal of Gastroenterology で online publish された。
- ・栃木県立がんセンターの論文が Surgery Today で online publish された。
- ・取扱い規約における腹膜播種の客観性につき，事務局より発表された。
- ・大阪府立成人病センターの能浦先生より，論文化している内容の発表があり，統計学的解析方法について討議がなされた。
- ・今後、本データベースを用いて解析結果を学会や論文等に発表してゆく際には、発表内容の重複や論旨の齟齬を避けるために事務局が調整作業を行うこととし、抄録の段階で事務局宛に提出していただくことが確認された。

上記が全会一致で承認された

（文責：小林宏寿）